

デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証について

1 制度の概要

デジタル田園都市国家構想交付金は、「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から創設された交付金で、補助率は1／2となっています。

この交付金は、令和4年度まで「地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金」として交付されていたものですが、国の制度改正により、「デジタル田園都市国家構想交付金」として一本化されたものになります。

2 志摩市で実施する交付金事業

本市では、内閣府から交付金の交付を受けて、令和5年度に以下の事業を実施しました。

・デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業

事業名	事業費 (交付実績金額)
(1)スポーツを核とした複合的なツーリズム展開事業 【継続・2021年度採択】	5,706,240円 (2,853,000円)
(2)買い物利便性向上事業 ～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～ 【継続・2022年度採択】	3,352,000円 (1,676,000円)
(3)観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業 【継続・2022年度採択】	6,000,000円 (3,000,000円)
(4)若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト 【新規・2023年度採択】	2,712,000円 (1,356,000円)
(5)デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通 ネットワーク構築事業 【新規・2023年度採択】	18,374,521円 (9,186,000円)

3 デジタル田園都市国家構想交付金事業の主な効果

(1) スポーツを核とした複合的なツーリズム展開事業

【実施結果】

- ・各種スポーツイベントや教室情報のSNS発信やスポーツ施設情報のホームページ制作
- ・サイクリングツーリズム：太平洋岸自転車道利活用推進三重地区協議会に参画。ナショナルサイクルルートの志摩市を中心とした伊勢志摩エリアのPRを実施。
- ・サーフツーリズム：国府エリア・市後浜エリアのサーフショップや飲食店情報等をMAPデータでの情報発信
- ・そのほか各種スポーツイベントを実施（ビーチラグビー・トライアスロン等）

【効果】

- ・Facebook合計リーチ数：15,078件 Instagram合計リーチ数：7,403件
HPへのアクセス数：年間平均700.4件
- ・全体的にイベントへの参加人数は昨年度実績より減少。コロナ期間中にスポーツイベント参加を取り止めた方や、年間に参加するイベント数の見直しを行った方が多かったことが要因か。今後そのような方を呼び戻すための取組が必要であると考えられる。

(2) 買い物利便性向上事業～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～

【実施結果】

- ・事業2期目として新たに4事業者が補助金を活用して移動販売・宅配事業・商店設置事業等を実施。
- ・移動販売事業を開始した1者が自治会にヒアリングを行いながら、20地域以上を対象に実施。商店がない地域（買い物困難地域）での買い物機会創出に繋がった。

【効果】

- ・「補助事業の平均売上高」に関して、前年度と比べて改善傾向にあり、新規4事業者の年間利用者の増加により今後更なる改善が見込まれる。
- ・「解消された買い物困難地域数（自治会単位）」に関しては、事業実施地域数が大幅に増加したことにより、目標を大幅に達成。

(3) 観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業

【実施結果】

<地域特産品の拡大・情報発信事業>

- ・大王崎周辺の無人販売店舗「良心市」を有効活用するための新たな取組として、地域のアクセサリー作家やコーヒーショップなどの出店を実施。また、大王崎にフォーカスしたWEBサイト「大王崎びより」を整備し、灯台参観等の地域の観光コンテンツとの連携した情報発信を実施。

<地域における観光滞在時間向上事業>

- ・「大王星空映画祭」を開催して灯台夜間参観や、ライトアップやキャンドルナイトを同時開催。そのほか、街歩きツアーと組み合わせた「伊勢志摩謎解きスタンプラリー」を開催。

<志摩ストーリー発見観光バス支援事業>

- ・観光客に新しい志摩の魅力を伝えるだけでなく、課題である周遊性の向上・消費額の拡大に繋げるため、宿泊に志摩ならではのコンテンツ（海女漁見学、漁港見学、大王街並み散策等）を組み合わせた旅行ツアーを企画。

【効果】

<地域特産品の拡大・情報発信事業>

無人販売店良心市は、客層やニーズの不一致が見られ販売数は伸び悩んでおり、新たな商品の展開も考えており、地元クリエイターと連携した限定商品などを展開予定。

<地域における観光滞在時間向上事業>

「大王星空映画祭」：来場者数は2,502名で計画時の目標を達成。

「伊勢志摩謎解きスタンプラリー」：参加者数は目標を大きく下回り199人。夏場の猛暑時期での開催であったこと、参加者の年齢層の高さとスマホ操作を用いた参加方法との相性の悪さが要因と分析。紙媒体への転換・通年開催で展開するなど、幅広い世代で楽しめるよう改良予定。

<志摩ストーリー発見観光バス支援事業>

物見遊山の見学だけでなく、テーマを持ったコンテンツを提供することで、再訪率向上・リピーターの獲得に繋がった。

(4) 若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト

【実施結果】

- ・創業支援補助金等による創業の促進、市内企業PR動画制作や就職活動サイト「マイナビ」への採用情報掲載による採用情報の発信、雇用創出助成金等による雇用受入の促進を実施。

【効果】

- ・特に、雇用促進事業において市外企業の誘致に1件成功し、新たな雇用創出に繋がった。
- ・伊勢志摩地域の高校生を対象に、進路や将来的な定住に関するアンケートを実施、若年層の定住に必要な総合的な環境に関する傾向などを把握することができた。
- ・KPIの達成状況は、年間の創業希望者数が少なかったため、「支援を経て創業した創業者数（第二創業含む）」に関しては、50%未満であった。一方で「助成金を活用した新規雇用数」が97%と概ね達成、「社会減による人口減少数の改善数」に関しては、各種事業の相乗効果により目標を大幅に超え達成した。

(5) デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通ネットワーク構築事業

【実施結果】

- ・令和6年1月10日から令和6年3月29日の間、大王町・志摩町の2つのエリアで、AI予約管理システムを活用したデマンド交通の実証運行を実施。

【効果】

- ・デジタル技術を活用することで、地域の移動ニーズを効率的に把握することができ、実証運行により利用者の94%が70歳以上の方で、医療機関やスーパーマーケットが乗降場所の上位となっていることなどが把握できた。
- ・実証運行のデータを基に、高齢者の買い物や通院に係る移動を支援できる持続可能な公共交通ネットワークの構築を継続して取り組んでいく必要がある。
- ・デマンド交通の実証運行が初年度であり、地域内での認知を十分に広げられなかったこともあり、KPIの「新たに実装した公共交通の利用者数」に関して、50%未満という結果になった。

4 デジタル田園都市国家構想交付金事業の主な課題と今後の取組

(1) スポーツを核とした複合的なツーリズム展開事業

- ・イベントへの参加者数増加や更なる観光誘客に繋げていくためには、志摩市全域域でのスポーツイベント開催が重要になると分析し、令和6年度は、志摩町にて温泉ガストロノミーウォーキングの実施予定。志摩市5町すべての地域でのイベント展開など、今後より一層スポーツツーリズムの推進へ繋げていくため、更なる事業の磨き上げや積極的にSNS等で情報配信を行っていく。

(2) 買い物利便性向上事業～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～

- ・本事業による実施地域は大幅に増加したものの、地域により利用者の定着率にばらつきがあるなど、売り上げに伸び悩んでいる事業者もいる状況。
- ・過去2年間の採択事業を長期的に継続していくためには、需要にマッチした地域選定による売上確保が重要であることから、令和6年度は、採択事業者へのヒアリングを通じた事業実施地域の買い物支援需要の再把握を進める。
- ・事業を実施していない地域についても、採択事業者・自治会・関係機関（社会福祉協議会、商工会等）と連携し、買い物支援需要がある未実施地域の把握を進めるとともに、必要に応じてそれら地域への事業実施地区の拡大を採択事業者と検討していく。

(3) 観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業

- ・各体験コンテンツにおいて派遣するガイド養成がうまくいっていないため、ガイド関係のコンテンツが充実していないことが課題。令和6年度以降は、観光協会が実施している志摩検定に合格した「志摩観光案内人」を活用することなどを検討。更なる観光客の満足度向上に繋げるため、観光協会と連携して、ガイドの育成を連携して行っていくことが必要。

(4) 若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト

- ・事業効果を確立していくためには、各種事業のターゲット（特に若年層）に対する取組の周知が不足しているため、関係機関等有するネットワークの活用やより効果的な広報媒体活用を検討していく必要がある。
- ・令和6年度は新たな取組である「創業支援事業」として、創業検討者から創業済みの事業者まで幅広い方が参加できる創業交流会を、「雇用促進事業」

において、県内の雇用関係機関の広報媒体を活用した情報発信を実施する。

- ・「市内企業DX推進事業」として、市内企業向けDXセミナーとデジタル人材育成講座を実施。市内企業の働く環境整備と新たな働き方の創出を図っていく。

(5) デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通ネットワーク構築事業

- ・事業実施にあたっては、広報しまやホームページに掲載を行うとともに、自治会単位での説明会も開催するなど取組の周知を実施。
- ・令和6年度は、上記に加え高齢者サロン等の地域活動へ積極的に出向き、取組の周知を行うとともに、高齢者にとって身近な外出先である医療機関（医師会）や調剤薬局（薬剤師会）のほか、地域を把握する民生委員等と連携した周知も進めている。
- ・地域におけるデマンド交通の認知を広げる取組を進めながら、令和6年度についても、11月19日から大王町・志摩町エリアで2期目となる実証運行を開始。

■ デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度事業のKPI達成状況一覧

事業名	事業概要（実施計画）	事業実施期間（始期）	事業実施期間（終期）	交付決定額	実績額	KPI	増加分 目標値	増加分 実績値	達成度
スポーツを核とした複合的な ツーリズム展開事業	スポーツの多様な効果を活用したまちづくりや地域活性化、人材育成等を目的に、スポーツを核とした複合的なツーリズム事業を展開し、季節を限定しない観光商品を造成する。また、新たな観光の創出のため、観光資源の情報収集を実施、事業実施体制の構築、一元的なプロモーション活動などを実施する。 ●令和5年度実施事業 ・スポーツ観光推進事業（スポーツツーリズムに関する情報発信・プロモーション活動、サーフィンを活用した観光地・地域づくりに取り組む団体への負担金など）	交付決定日 (令和3年3月30日)	R6年3月31日	2,953,000円	2,853,000円	本取組により造成したスポーツツーリズム等への市外からの参加者数	80人	150人	A
						プロモーションを行ったスポーツ関連事業数	12事業	10事業	B
						造成したスポーツツーリズム等の事業数	3事業	3事業	A

事業名	事業概要（実施計画）	事業実施期間（始期）	事業実施期間（終期）	交付決定額	実績額	KPI	増加分 目標値	増加分 実績値	達成度
買い物利便性向上事業 ～多角的な買い物手段による 持続可能なまちづくり～	買い物支援を行う事業者の新規参入及び事業拡大の促進、買い物機会の確保及び市内の消費拡大を図るため、買い物困難地域を対象に、買い物利便性向上に繋がる事業を実施する事業者に対して、事業実施及び継続に係る経費の一部を補助する。 ●令和5年度実施事業 ・買い物利便性向上事業補助金 （事業初経費補助金（採択1年目）：3件、 運営費補助金（採択2年目）：2件）	交付決定日 (令和4年3月25日)	R7年3月31日	2,200,000円	1,676,000円	解消された買い物困難地域数（自治会単位）	2地域	18地域	A
						小売業者の減少抑制数	3事業者	5事業者	A
						補助事業の平均売上高（販売事業のみ）	500千円	558千円	A

事業名	事業概要（実施計画）	事業実施期間（始期）	事業実施期間（終期）	交付決定額	実績額	KPI	増加分 目標値	増加分 実績値	達成度
観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業	市、観光関連団体、地域、民間企業等の連携による観光地経営を目指し、協議体制を構築するとともに、DMCの創設に取り組み、効果的な観光地経営を展開するための事業について実施する。また、観光魅力・観光消費の向上や観光周遊の促進を目的に、地域の特性に応じた事業を実施するとともに、事業の担い手となる地域団体等において自主・自立的な収益性のある運営がなされるための仕組みづくりに取り組む。 ●令和5年度実施事業 1.地域特産品の販売拡大・情報発信事業 2.伊勢志摩国立公園の景観を生かした観光事業 3.地域における観光滞在時間向上事業 4.志摩ストーリー発見観光バス支援事業	交付決定日 (令和4年3月25日)	R7年3月31日	3,000,000円	3,000,000円	事業展開を行った地域の入込客増加率	1%	4%	A
						市内全体の宿泊客数	200,000人	169,675人	B
						事業展開を行った地域の延べ数	1地域	1地域	A
						志摩市管内水揚前年度比較	50百万円	－73百万円	D

事業名	事業概要（実施計画）	事業実施期間 （始期）	事業実施期間 （終期）	交付決定額	実績額	KPI	増加分 目標値	増加分 実績値	達成度
若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト	志摩市の人口減少の大きな要因となっている若年層の就学・就職に伴う市外への転出及び転出後のUターン率の低さを解消するため、若年層が定住するうえで重要な生活基盤である「しごと」を創業・雇用の両面から創出するための事業を実施する。 ●令和5年度実施事業 （1）創業支援事業 （創業支援補助金、創業支援保証料・利子補給補助金など） （2）若年層の就職を促進する雇用促進事業 （地元就職PR動画の作成、新卒者雇用促進事業助成金など）	交付決定日 （R5年3月29日）	R8年3月31日	1,491,000円	1,356,000円	社会減による人口減少数の改善数	10人	45人	A
						支援を経て創業した創業者数（第二創業を含む）	15人	7人	D
						助成金を活用した新規雇用数	40人	39人	B
						デジタル人材養成講座の受講者数（※）	—	—	—

※…2024年度から実施する事業に関わる指標のため、2023年度実績はなし。

事業名	事業概要（実施計画）	事業実施期間 （始期）	事業実施期間 （終期）	交付決定額	実績額	KPI	増加分 目標値	増加分 実績値	達成度
デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通ネットワーク構築事業	志摩市内を運行する路線バスや鉄道などの地域間幹線交通や半島地形を繋ぐ湾内航路などの既存公共交通を最大限に活用することを前提に、既存公共交通の駅や停留所、商業施設や医療機関への移動を可能とし、公共交通空白地を無くすための、新しい地域公共交通ネットワークを構築する。 また、実証を行うデマンド交通の予約管理については、スマートフォン等の活用を想定したデジタルシステムを導入し、予約の重複や最適な交通ルート の計算についてもAI（人工知能）により処理を行う。 ●令和5年度実施事業 ・デマンド交通実証事業 2地域（大王町・志摩町）	交付決定日 （R5年3月29日）	R8年3月31日	18,440,000円	9,186,000円	新たに実装した公共交通の利用者数	1,250人	607人	D
						既存の公共交通の利用者数	109,000人	145,822人	A
						公共交通乗降箇所数	100箇所	109箇所	A
						市内各地域に点在する観光施設の入込客数	1,200人	47,342人	A

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】 A：100%以上 B：80%以上100%未満 C：60%以上80%未満 D：60%未満